



## お知らせ

## 課題図書の出借ルールについて

より多くの方に読んでいただくため、「第65回青少年読書感想文全国コンクール」課題図書の出借ルールを次のとおりとします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



- ◆ 期間:7月20日(土)から9月1日(日)まで
- ◆ 貸出対象者:個人のみ
- ◆ 貸出点数:3点まで
- ◆ 貸出期間:7日間(延長はできません)
- ◆ 予約点数:3点まで



## 研修報告

## 障害がある子どもへ読書支援をする大人の役割(前半)

2019年5月18日(土)、当館職員が「特別研修 障害がある子どもへ読書支援をする大人の役割」(主催:公益財団法人 伊藤忠記念財団)を受講しました。この研修内容について、2回に分けてご報告をいたします。この研修では、障害があり、紙の本を読むことが難しい子どもたちへの読書支援の方法について講義が行われました。

I わかりやすいって ということ ～知的障害がある子どもの支援者に求められる「こころ」と「わざ」～ (淑徳大学短期大学部 准教授 打波文字講師)

この講義では、知的障害のある人へ読書支援を行う際に、支援者に必要な考え方や、具体的な技術を学んだ。知的障害のある人は、言葉以外でのコミュニケーション要素を重視し、健常者の視点から見ると不完全な言葉の使い方をすることがある。これは、言葉が「分からない」から・コミュニケーションが「できない」からではなく、社会のありかたや価値観が「できなくさせている」のである。その中で、情報保障やコミュニケーション支援は、知的障害のある人の社会参加を保障するための手立てとして必要である。

障害の困難さは多様なので、一人ひとりがわかりやすい情報のかたちを、当事者と一緒につけていくことが大切である。文章をわかりやすくするには、シンプルな構文で簡潔かつ具体的に書き、複雑な表現を避けることが効果的。ピクトグラムを組み合わせるのも良い。(参考となるウェブサイト「知的障害者への情報提供——わかりやすい情報提供の実現に向けて」<https://synodos.jp/welfare/14700>)

II さあ、おはなしをはじめましょう ～特別支援学校での読み聞かせ 六つのポイントとその実際～ (東京都立多摩図書館 課長代理 情報サービス担当 浅沼さゆ子講師)

この講義では、実際に特別支援学校へ読み聞かせに出向いている講師より、おはなし会の準備から実践までのプロセスや、絵本の選び方や読み聞かせの手法を学んだ。都立特別支援学校でのおはなし会は、綿密な事前準備から始まる。先生には、子どもの障害について具体的に教えてもらい、要望にはできるだけ応えられるように準備をする。1回のおはなし会では、どれか1冊でも気に入ったものがあれば嬉しいという思いから、いくつかのタイプの絵本を組み合わせで読んでいる。実施後は、記録を取って職員間で共有している。

読み聞かせの6つの手法として、「子どもの気持ちに寄り添って読む」「興味を持つ一部分を読む」「ダイジェストで読む」「読んだことを体験する」「クイズをしながら読む」「同じ絵本を繰り返して読む」というのが紹介された。

## 新刊案内

『ビブリオ漫談 「笑い」と「ユーモア」あふれる本の紹介』笹倉剛／著 C019.9/冊 あいり出版  
著書「ビブリオトークシリーズ」の6冊目。「ビブリオ漫談」とは、ビブリオトークの中の一つのパターンで、大阪市立中央図書館で実施されていた「書評漫談」を参考にしたものです。漫談のように「笑い」や「ユーモア」を採り入れた楽しい本の紹介によって、本を手にとることへの敷居を低くすることができます。対象別の実践例を30作品掲載。

『ソングジュの見た星 路上で生きぬいた少年』リ・ソングジュ、スーザン・マクレランド／著 野沢佳織／訳 936/リッ 徳間書店  
1990年代から2000年代の北朝鮮を舞台にしたノンフィクション。首都平壤で何不自由ない暮らしを送っていたソングジュは、父の失脚により追放され、過酷な生活を強いられます。食料を探しに行った両親は行方不明になり、そのうえ自宅も奪われたソングジュは、同じ境遇の少年たちと路上生活を送ることに。現在は脱北者の支援活動をしている著者の、過酷な環境の中でたくましく生き抜いた少年時代が描かれています。

## ▼△▼△▼△▼△▼ 7月の行事 ▼△▼△▼△▼

<p>ぴった～あかちゃんのおはなしかい～ (毎週土曜日) 7月6日、13日、20日、27日 10:00～10:20 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>	<p>おはなしのじかん (毎週土曜日) 7月6日、13日、20日、27日 10:30～11:00 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>
<p>ストーリーテリング勉強会(毎月第2水曜日) 7月10日 9:30～11:30 4階 集会室</p>	<p>子どもの本の読書会(毎月第2木曜日) 7月11日 10:00～11:30 7月の課題図書:『かべのむこうになにがある?』 (ブリッタ・テッケントラップ／作、風木一人／訳、BL出版) 4階 集会室</p>
<p>ちいさいひとたちのための絵本とおはなしにであう会 7月3日 10:30～11:00(毎月第1水曜日) 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>	
<p>リレーおはなし会 in オーテピア高知図書館 【主催:リレーおはなし実行委員会】 (毎月第2、第4日曜日)11:00～11:40 7月14日『楽しい図書館をつくろう会』(春野町)、7月28日『のいち子ども図書館クラブ』(香南市) 2階こどもコーナー おはなしのへや</p>	

上記の行事は、いずれもオーテピアで行います。【申込み・参加費は不要】



## 伝言板



伝言板では、こどもと読書に関する催し物などを掲載します。次号のSariSari通信伝言板への掲載をご希望される場合は、オーテピア高知図書館児童サービス担当まで前月15日までにお知らせください。

TEL 088-823-4946(代表) 088-802-6023(こどもコーナー) FAX 088-823-9352